## 令和4年度事業報告書

# 第1 清掃

## 1 施設

## (1)船舶

船名	総屯数	主機関	速力	乗組員	集積能力	形式	備考
清港対	19.0 t	ディーセッル 345 <sup>PS</sup> ×2基	10.0kt	3名	20 m³	ディスフローター式	
あゆち	14.0 t	ディーゼル 130 <sup>ps</sup> ×2基	7.0kt	3名	12m³	ディスフローター式	名古屋港管理組合
きよかれ	4.9 t	ディーセル 112.8 <sup>PS</sup> ×1基	8.5kt	3名	3m³	曳舟兼清掃船	から無償借受け
塵芥運搬船	}	無動力			30m³		

## (2) 土地および建物

用途	所 在 地	土地面積	建物面積	備	考
事務所及び船舶基地	港区作倉町1番95号	984. 95 m²	175 <b>.</b> 52 m²	名古屋港管理組合か	ら無償借受け
作倉作業基地	港区作倉町 101 番	991.48 m²		//	(含護岸敷)
中川作業所	中川運河南幹線 11 号地以南	159 <b>.</b> 48 m²		//	(土地)

## (3) 起重機

種	別	形式	設 置 場 所	用途	備考
1.0	t	デリッククレーン	中川作業所	塵芥陸揚げ用	名古屋港管理組合から無償借受け
2.8	t	ジブクレーン	作倉作業基地	//	"

## 2 人員

職名	副会長兼 常務理事	事務局長	事務員	班長	副班長	作業員	計	備考
人数	1名	1名	2名(※)	1名	1名	1名	7名	※ 大型漂流物除去等事業と兼務

#### 3 作業内容

### (1) 区域別形態

清掃区域	使 用 船 舶	作業員数	基地	搬出処理作業搬出先
港内	清港丸	3名		可燃ごみについては、基地
	あゆち	3名	作倉作業基地	(作業所)に据え付けたクレーン と名古屋市から配車するトラッ ないこよっていっぱ
堀 川	き よ か わ (塵芥運搬船)	3名	TF启TF未基地	ク、および本会が借上げたトラッ クを使用して処理を行う。 可燃ごみ以外の産業廃棄物 所有する工場
中川運河	き よ か わ (塵芥運搬船)	3名	作倉作業基地 / 中川作業所	については、収集運搬・処分 を産業廃棄物処理業者に委 託する。

ア 作業予定表に従って、悪天候や土日祝日を除いて毎日、清掃船「清港丸」および「あゆち」による名 古屋構内の巡回清掃を実施した。

特に、ガーデンふ頭は名古屋港の表玄関として多数の来港者があるため、春から秋にかけて船溜りを 重点的に清掃した。

9月に愛知県に接近・通過した台風14号、15号により発生したごみにも対応した。

イ 作業予定表に基づき、清掃船「きよかわ」による堀川、新堀川、および中川運河の適宜清掃を行った。

中川運河については、必要に応じて全域にわたって清掃を実施し、特に松重ポンプ所および中川口ポンプ所付近に汚物や塵芥が集積するため、月平均4回清掃を行った。

また、中川口通船門の閘室を中心に発生した浮遊死魚の処理も実施した。処理実績については、『6ページ(3)浮遊死魚処理』に記載している。

ウ 主な塵芥の種類は、流木(小)、木片、竹、葦、パレット、発泡スチロール、プラスチック容器、ビニール製品、ガラス瓶、ペットボトル、缶、紙屑、および家庭廃品類等がある。

#### (2) 流出油処理

本会に係る令和4年度の流出油処理件数は0件であった。

## 4 塵芥別処理実績

### (1) 清掃区域別処理実績

内	訳	内	港	南	部	西	部	堀	JII	新	堀川	中丿	川運河		計	備	考
月別		回数	塵芥(㎡)	回数	塵芥(㎡)	回数	塵芥(㎡)	回数	塵芥(㎡)	回数	塵芥(㎡)	回数	塵芥(㎡)	回数	塵芥(㎡)	7/用	与
令和4年	4	16	25.5	13	19.5	9	4.5	12	12.5	2	1.0	4	5.5	56	68.5		
	5	18	104.0	9	12.5	4	2.0	13	11.0	l	0.5	4	4.0	49	134.0		
	6	20	70.5	11	11.0	4	2.0	16	10.0	2	1.0	4	6.5	57	101.0		
	7	20	156.5	8	50.0	1	0.5	14	10.0	2	1.0	5	6.0	50	224.0	死魚	11,500匹
	8	22	146.5	9	11.0	1	0.5	12	8.0	2	1.0	4	4.5	50	171.5		
	9	18	137.0	11	39.0	4	2.0	14	62.0	2	1.5	5	11.0	54	252.5	死魚	500匹
	10	17	41.5	19	64.0	2	1.0	13	7.5	2	1.0	4	4.5	57	119.5		
	11	17	14.5	12	16.5	3	1.5	13	8.5	2	1.0	4	4.5	51	46.5	死 魚	110,000匹
	12	16	12.5	11	11.5	7	5.0	14	8.5	1	0.5	3	3.5	52	41.5		
令和5年	l	18	17.0	11	23.5	4	2.0	14	7.0	2	1.0	4	5.0	53	55.5	死 魚	50匹
	2	17	17.5	13	23.5	4	2.0	14	10.0	2	1.0	4	4.0	54	58.0	死 魚	1,500匹
	3	19	31.0	12	9.5	7	3.5	14	8.0	2	1.0	5	5.0	59	58.0		
計		218	774.0	139	291.5	50	26.5	163	163.0	22	11.5	50	64.0	642	1,330.5	死魚	123,550匹

#### ◆ 年度別宝績

		<u>-/又</u>	力力															
T T	]訳		内	港	南	部	西	部	堀	Ш	新	堀川	中リ	川運河		計		ii 考
年度別	_		回数	塵芥(㎡)	回数	塵芥(㎡)	回数	塵芥(㎡)	回数	塵芥(㎡)	回数	塵芥(㎡)	回数	塵芥(㎡)	回数	塵芥(㎡)		C. m
平	成	17	238	616.5	162	410.0	69	120.5	148	213.0	12	8.5	23	44.5	652	1,413.0	死魚	14,121匹
	//	18	289	1,162.5	171	550.0	61	67.5	112	170.0	11	6.0	18	47.0	662	2,003.0	死魚	15,982匹
	//	19	277	658.5	145	465.5	7	8.0	117	132.0	5	2.5	16	31.5	567	1,298.0	死魚	129,580匹
	//	20	269	1,348.0	133	529.5	5	12.0	118	120.0	12	6.5	17	41.0	554	2,057.0	死魚	8,020匹
	//	21	256	1,571.2	123	580.5	21	42.0	129	133.5	21	12.5	23	52.0	573	2,391.7	死魚	265,800匹
	//	22	295	1,285.5	144	443.5	39	77.5	174	196.0	18	12.5	23	62.5	693	2,077.5	死魚	679,350匹
	//	23	268	1,513.5	140	694.5	30	67.5	166	153.5	22	13.5	22	51.0	648	2,493.5	死魚	896,900匹
	//	24	277	1,171.5	160	436.5	15	19.0	166	197.5	23	13.0	24	70.5	665	1,908.0	死魚	56,340匹
	//	25	265	1,564.0	95	349.5	19	15.5	159	186.0	17	9.0	24	58.0	579	2,182.0	死魚	254,600匹
	//	26	230	992.5	75	456.0	12	32.5	168	179.5	17	8.5	29	50.5	531	1,719.5	死魚	61,200匹
	//	27	185	572.5	61	225.5	16	21.0	157	137.5	24	13.6	29	45.0	472	1,015.1	死魚	824,480匹
	//	28	212	1,824.0	67	358.5	15	22.5	143	114.5	19	10.0	20	38.5	476	2,368.0	死魚	992,000匹
	//	29	224	2,353.0	91	365.5	17	17.0	104	98.0	15	8.0	44	83.0	495	2,924.5	死魚	1,384,766匹
	//	30	216	1,008.0	92	310.5	33	34.5	147	114.0	13	7.5	49	85.0	550	1,559.5	死魚	180,000匹
수	和	元	212	1,127.0	106	310.0	36	31.5	128	95.0	20	10.0	42	72.0	544	1,645.5	死魚	20,700匹
	//	2	215	1,512.0	119	264.5	37	20.0	160	138.0	20	10.5	48	65.5	599	2,010.5	死魚	198,760匹
	//	3	209	1,659.0	117	288.5	56	51.5	135	118.0	21	10.5	41	53.0	579	2,180.5	死魚	25,000匹
	//	4	218	774.0	139	291.5	50	26.5	163	163.0	22	11.5	50	64.0	642	1,330.5	死魚	123,550匹

## (2)河川大清掃

令和4年10月18日から10月26日まで河川大清掃を実施した。実績は以下のとおりである。

### ◆ 河川大清掃実績表

	種 別		河 川 名	出動人	員およて	が船舶	塵芥	区	間
年月				清港会	木材業者	船舶	屋 7		[H]
4年	10月18日	(火)	堀 川	5人	4人	l隻	0.5 m³	松重橋 ~	~尾頭橋
	10月19日	(水)	//	3人	—	l隻	1.0 m³	巾下橋 ~	~ 松重橋
	10月20日	(木)	新 堀 川	3人	_	l隻	0.5 m³	堀 留 ~	~ 内田橋
	10月21日	(金)	中川運河	3人	_	l隻	1.0 m³	堀 止 ~	~ 中川閘門
	10月24日	(月)	堀 川	3人	_	l隻	0.5 m³	尾頭橋 ~	~ 瓶屋橋
	10月25日	(火)	//	3人	_	l隻	0.5 m³	瓶屋橋~	~ 大瀬子橋
	10月26日	(水)	//	3人	_	l隻	1.0 m³	大瀬小橋 ~	~ 堀川水門
	合 計			23 人	4人	7隻	5.0 m³		

#### (3) 浮遊死魚処理

浮遊死魚を発見後、清掃船を急行させ、迅速に処理作業を行った。処理実績は次のとおりである。

種別年月日	作業船舶	人員	処 理 量	種 類	作業時間	場	所
4年 7月4日	清港丸	2人	500 匹	コノシロ	13:15~14:15	中川運河	中川閘室
7月7日	清 港 丸	2人	1,000 匹	コノシロ	8:30~9:30	中川運河	中川閘室
7月29日	清 港 丸	2人	10,000 匹	コノシロ	7:45~9:00	中川運河	中川閘室
9月9日	きよかわ	3人	500 匹	コノシロ	8:45~9:45	中川運河	中川閘室
11月15日	清 港 丸	2人	110,000 匹	コノシロ	9:15~10:00	木 材 港	貯 木 場
1月5日	きよかわ	3人	50 匹	ボ ラ	13:30~14:30	堀 川 日置	<b>宣橋~尾頭橋</b>
2月13日	きよかわ	2人	1,500 匹	ボ ラ	13:45~15:30	堀川尾頭	<b>酺~松重橋</b>
合 計		16人	123,550 匹		10 時間 00 分		

#### 5 啓発・宣伝

(1) 名古屋市が推進する「環境学習ウィーク・トライ&アクション」事業の一環として、名古屋港内の 美化と公衆衛生向上を目的に、清掃作業見学会を開催した。「海のそうじ屋さんを見学」と銘打たれ たこのイベントには、6月7日(火)に名古屋市立東築地小学校の3年生2クラス、約50名が参加 した。作倉作業基地を訪れた参加者たちは、清掃作業の実演を観覧し、ごみが船舶の航行や生物に与 える影響について、パネルなどを用いて説明を受けた。この見学会を通じて、環境への意識向上が図 られた。



▲ 清掃船による清掃作業の実演



▲ 見学会の様子

(2) 10月12日、名古屋港管理組合が主催するみなと体験ツアーが開催された。このツアーは、地域 産業やくらしを支える名古屋港を海上から船で見学するもので、港務艇「ぽーとおぶなごや2」に乗 船して名古屋港を巡った。この日は環境・景観コースとして、「清港丸」が紹介され、港の環境を守 る船として注目を集めた。また、「ぽーとおぶなごや2」船内には、「清港丸」が回収した海洋ごみ の一部が展示された。

(3) 清港会の「あらまし」およびリーフレット「海のおそうじやさん」を、各関係機関および一般市民に配布し、環境啓発に努めた。

- (4) 各清掃船に「港や川をきれいにしましょう」というプレートを常時取り付け、港湾利用者らに対し て港湾美化を呼びかけた。
- (5) 6月の海洋環境保全推進月間中、南極観測船「ふじ」や船だまりに「港や川をきれいにしましょう」の横断幕を掲げ、啓発活動を行った。また、10月2日(日)に開催された名古屋レガッタに合わせ、中川運河沿いに横断幕を掲げ、港内美化を呼びかけた。





▲ 南極観測船ふじ 横断幕

▲ 中川運河 横断幕

(6) 10月18日から26日まで、名古屋港管理組合、名古屋市、および堀川、新堀川、中川運河沿線の木材業者の協力を得て、名古屋水上交通組合と共催で恒例の河川大清掃が実施された。初日には名古屋木材会館で河川大清掃出発式が行われたものの、昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、規模を縮小して執り行われた。

この期間中、船に「港や川をきれいにしましょう」の横断幕を掲げ、堀川、新堀川、中川運河において、港や川の汚染防止を呼びかけた。







▲ 河川清掃に向かう3人

(7) 名古屋港水族館の南館3階には、海の環境問題をメインテーマとした「エコ・アクアリウム」が常設展示されている。このエコ・アクアリウムは、日本初の水族館での常設の環境教育ルームであり、海洋プラスチックごみが生物や海に与える影響や海洋環境について、パネルや大型モニタ、顕微鏡を使って解説している。また、この展示の一角では、昨年度に引き続き、本会の清掃活動の紹介や環境保護の啓発を目的として、動画やパネル、「清港丸」で回収した海洋プラスチックごみの展示を行っている。



▲ 「エコ・アクアリウム」展示物



▲ 「エコ・アクアリウム」展示物(2)

事業報告書 第2 大型漂流物除去等

#### 第2 大型漂流物除去等

1 令和4年度の大型漂流物除去については、昨年度と同じく名古屋港管理組合からの委託を受け、名古屋港 港湾区域内(河川区域を除く)を作業船により、悪天候を除くほぼ毎日巡回して、航行船舶の障害となる大 型漂流物の収集作業を行った。緊急の場合は携帯電話で対応した。

収集した大型漂流物のうち、流木は、新宝ふ頭に設置してある「アバ」内に集積し、9月29日、3月1 8日に陸揚げ作業を実施し、乾燥後、3月18日に処分(チップ化)を行った。それ以外の収集した大型漂 流物については、作倉基地に集積し、適宜、産業廃棄物処理業者に収集運搬・処分を委託した。

なお、家電については、家電リサイクル法に基づき適切に処理された。





▲ 新宝ふ頭「アバ」 流木集積

▲ 陸揚げし乾燥後に運搬処分

- 2 主な大型漂流物の種類は、丸太、角材、板、沈廃船(ボート)、ドラム缶、プロパンボンベ、ビニールシ ート、タイヤ、冷蔵庫、洗濯機、ベッドマット、ふとん、タンス類、自転車、バイク等である。
- 3 本年度は、沈廃船を産業廃棄物として、2隻処理した。





▲ 沈廃船2隻

#### 4 使用船舶

船	名	総屯数	主機	関	速	力	作業員	備	考
そう	うかい	7.9 hz	ディーセ゛ル 320PS 2	<1基	15.7	ノット	3名	名古屋港管理組合	合から無償借受け

事業報告書 第2 大型漂流物除去等

### 5 土地

用途	所 在 地	土地面積	備考
港内における大型漂流物陸 揚げ処理のため	東海市新宝町 25-1	1, 390. 76 m	名古屋港管理組合から無償借受け

### 6 人員

職	名	副班長	事務員	作業員	計	備考
人	数	1名	2名(※)	1名	4名	※ 清掃事業と兼務

### 7 大型漂流物陸揚げ処理および沈廃船処理実績

地	区	別	新	る室	頭隊	幸 揚	げ処理	廃棄物処理 (沈廃船)	備	考	
		נימ	陸	揚	げ	処	理			75	
	件数			2 回			1回	2隻			

### 8 収集および陸揚げ実績

収集のより控制が大原												
種類 月別		丸	太	角	材	木	反	船材	木工品	工業品	その他	陸揚
		2m 未満	2m 以上	2m 未満	2m 以上	2m 未満	2m 以上	沈船お よび廃 船等	パ レット, ベニ ヤ, 木片およ び箱等	タイヤ、ドラ ム、プロパン ボンバ 等	竹材, ロー プ、ビニールシ ート、菰等	げ 処理 量 (t)
R4年	4	7	4	1	0	2	0	0	6	0	12	
	5	4	5	4	3	3	1	0	21	2	17	
	6	18	22	15	15	0	12	1	62	1	30	
	7	20	37	1	7	0	6	0	113	3	65	
	8	37	72	3	8	2	5	0	186	6	125	
	9	39	92	2	3	0	2	0	133	6	113	
	10	79	43	4	3	3	3	0	112	3	118	
	11	30	20	9	6	7	1	0	37	1	47	
R5 年	12	17	12	8	2	0	6	1	20	0	27	
	1	40	14	7	7	8	2	0	46	1	55	
	2	14	14	3	4	5	1	0	21	4	35	
	3	22	12	14	7	5	7	0	42	10	38	32.61
計		本	本	本	本	枚	枚	隻	個	個	個	t
		327	347	71	65	35	46	2	799	37	682	32.61

<sup>※</sup> 陸揚げ処理量(t)は、新宝ふ頭に設置してある「アバ」内の大型漂流物(流木)を陸揚げし、乾燥後に搬出処分(チップ化)した処理量である。